

ゆきかふる

ゆきかふる 予の人情未だん といふ強が

あつた ゆきかふるいかに ゆきかふる

ここひるたまふ二とた 自腹軍かまてくたう

へんぱいほす終の結平どろしよると言つてい

た そしてる世に食物を買つておこなふおは

と心配するた ゆきかふる人とはど

てゆきかふる平許だ

ゆきかふると思つたが

その人は ゆきかふるい予の甲斐軍大将だ

将にすはれ侍を命じられた その時の忠告

を見せてもらつたがいふにすかり 左身は月本

刃ともちと殿じノマ 11222に殿は

た どうりうは身許をのり 想像するが

テリビでセガトセガトセガト といふが

当局はいつさい期知し原の 成功を祈るとい

う善組だつたと思ふ その輪を第2号

スライでやりそれを事実行する かなと思ふ

ほとおしつものスライなりかすつばりゆあら

い その命令と長兵団籍が消滅するのと

だが、その人は地球人の愛人の花、その人を  
 知ったのは昭和二十一年だ。終戦で日本に  
 来るのを来たというも、9月14日、<sup>中野</sup>中野の  
 定職に、午春の、やみぎの、千早、千早を、し  
 て、た、終戦直後、は、あ、ち、り、で、か、ち、り、に、な、つ、  
 た。そこは、教養、用、文、配、し、多、く、や、ち、り、の  
 取りし、多、り、を、千、早、か、か、り、の、  
 今年、三、十、年、ど、う、し、て、り、の、か、な、も、う  
 い、な、い、か、も、し、わ、り、の、  
 い、ろ、う、な、有、能、千、早、か、あ、り、よ、う、ど、か、時、の、國、の、た、め、

といえ、國籍、違、存、く、し、て、し、て、な、ら、し、た、ら、し、  
 二、七、だ、  
 千、早、か、命、の、自、本、に、な、り、あ、る、こ、と、は、あ、い、と、思、う、か、  
 外、は、ゆ、き、ゆ、き、だ、

う、か、  
 外、は、ゆ、き、ゆ、き、だ、